



Advanced Scientific Technology & Management Research Institute of KYOTO

ASTEM NEWS

【特集】

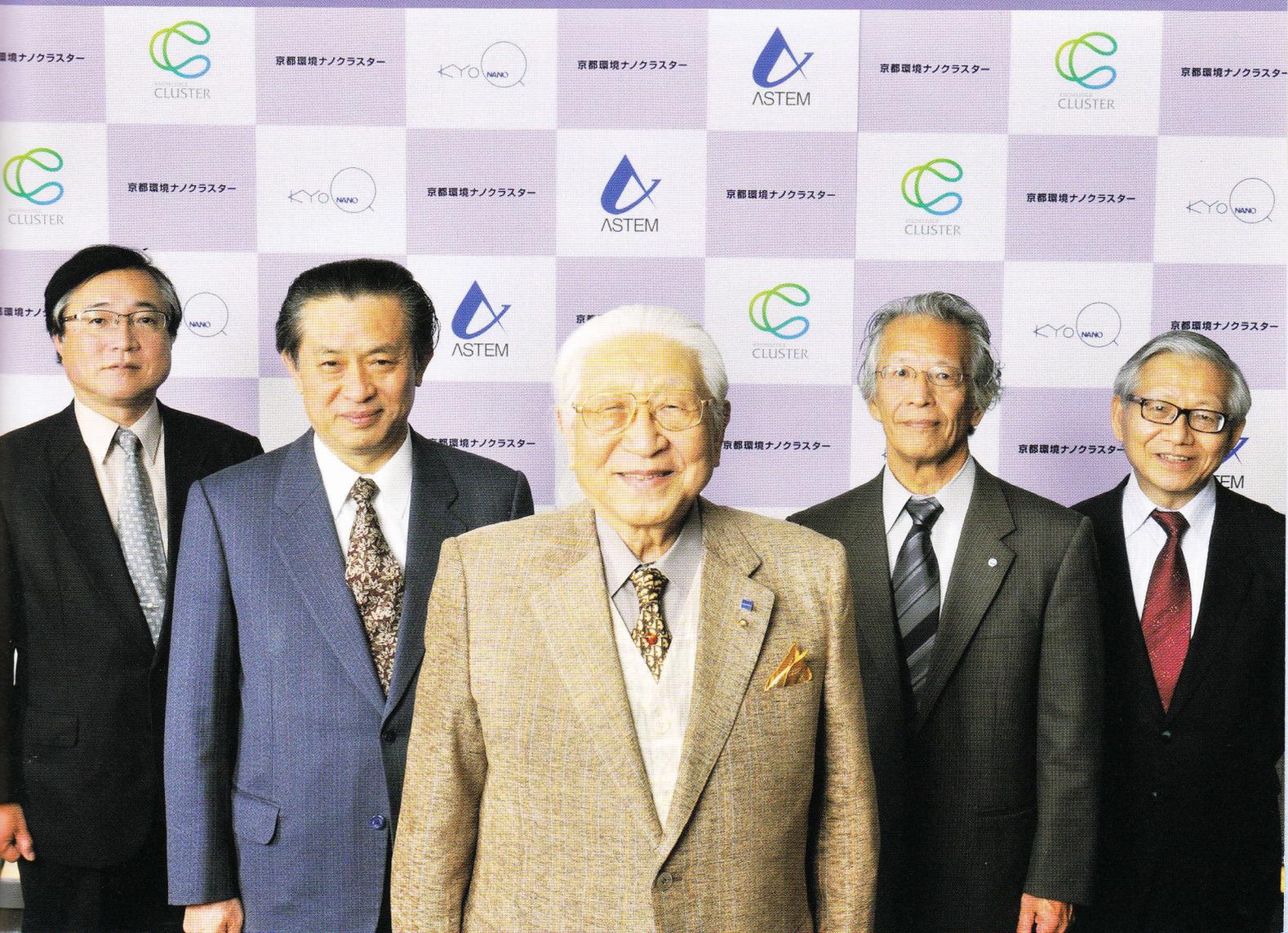
環境課題克服の鍵は京都から

京都環境ナノクラスター

67
JAN. 2013

CONTENTS

- PP.02~06 京都環境ナノクラスター
- PP.07~09 事業活動報告
- PP.10~19 目利きAランク認定企業
オスカー認定企業 紹介





株式会社平安製作所

テーマ

自動車メーカーが要求するあらゆる部品に対して長年培った技術・ノウハウを基に軽量化・低コスト化したプレス加工部品を提供するビジネスモデルを展開し、経営の安定と革新を図る。



DATA

代表取締役社長 荒木 邦彦
〒520-1823
滋賀県高島市マキノ町中庄464番地
TEL 0740-27-1271 FAX 0740-27-1272
URL <http://www.heian-mfg.co.jp/>
〈京都開発センター〉
〒600-8813
京都市下京区中堂寺南町134番地
ASTEMビル8F 802号室
TEL・FAX 075-322-1516



代表取締役社長
荒木 邦彦氏



〈従来品〉



一枚板をプレス成形した
ドライブプレートを開発



3層構造の吸音型
積層ギアを開発中

独自の工法で自動車部品の開発製造を手がける

1939(昭和14)年に京都市内で創業して以来、弊社は主に自動車に関わる部品や産業機械を製造してきました。戦後、日本が高度経済成長を遂げる中、自動車の需要増大に伴い事業を広げ、自動車のエンジン部品やトランスミッション部品、車体部品など製品ラインアップを増やしてきました。1962(昭和37)年には、生産規模を拡充するため京都市の工場に加えて滋賀県高島市にも工場を設置し、2003(平成15)年に本社と全生産機能をこの地に集約しました。

弊社の特長は、製品開発から金型設計・製作、プレスや溶接などの加工、組み立て、塗装、最終的な製品の品質評価まで、一貫して生産できる体制を整えているところにあります。これを強みに、早くからVA(価値分析)に基づいた新技術・新工法の開発に力を注いできました。自動車メーカーから提示された設計図をもとに、弊社独自のアイデアを加え、新技術・新工法を用いて低コスト化、高品質化を図れるのも、さまざまな生産設備を備えているからこそ、今では自社開発部品は、受注全体の約60%におよびます。

新しい工法を開発しコストの大幅削減を実現

近年、自動車メーカーの多くが海外の新興国に生産拠点を移し、海外からの部品調達を増やす中、国内の自動車部品市場は、縮小するばかりです。加えて安価な樹脂製品の普及によって、板金プレス加工のニーズも減っています。そうした厳しい状況の下、弊社は新技術・

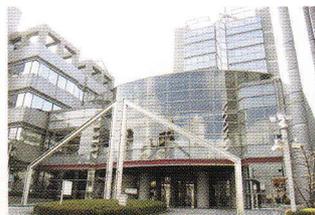
新工法によってコストを大幅に削減し、国内生産を貫きながら海外の競合他社に対抗しようとしています。

その一つとして、プレスによって一枚の鋼板を歯車型に成形するというこれまでにない工法を開発しました。これによって従来は鋼材を切削加工し、各部品を溶接して造っていたドライブプレートの製造工程を短縮し、軽量化するとともに、30%以上ものコスト削減を実現しました。すでに大手自動車メーカーにも採用されています。さらに新工法で造った精緻な歯車を3層に重ねることで、音の吸収性の高い積層ギアの開発に着手するなど、さまざまな製品に応用しています。

他ではできないものづくりで海外との競争に勝ち抜く

弊社の方針は、「日本国内でものづくりを徹底的に追求する」こと。金型やプレス技術を持つ弊社にしかできないものづくりでコストと品質の両方から競争力を高め、国内の需要を増やすことはもちろん、さらには海外へと販路を広げていくつもりです。需要拡大に備え、加圧力2000トンのサーボプレス機を導入するなど、生産体制の強化も図っています。今回オスカー認定を受けたことで、経営指導や専門的なアドバイスを心得、事業の発展に弾みをつけられたらと期待を寄せています。

企業の成長に人材は欠かせません。社員一人ひとりが弊社の一員であることを自覚し、夢と希望を持って働いてほしいとの気持ちから、弊社では「全員参加経営」を推進しています。全社員の力を結集して技術を磨き、だれにも真似できない「平安ブランド」で、これからも世界との勝負を勝ち抜いていきたいと考えています。



京都開発センター



本社・工場